

南海電鉄 モハユ751型 形式図

1923年にモハとして製造、1936年にモハユに改造された車輛
 明治末から大正中期にかけての南海における標準型の一つで、
 前面が卵のように丸くふくらんだ、木造ダブルルーフの電車
 2輛あり、郵便室の窓下に赤いテマークを付けて活躍
 図は1940年から47年までの 751を基準として作成
 台車はポールドウイン78-25-A
 製造当初はモハ125と126

